

琉球大学学術リポジトリ

サイエンティフィックな研究開発と特許

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西里, 壽雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002016848

「サイエンティフィックな研究開発と特許」

財団法人沖縄県産業振興公社 専門コーディネーター
琉球大学工学部 非常勤講師

西里 壽雄

いろいろな方法で得られた研究成果に対する考え方として重要なことは、特許権の合理的かつ戦略的な取得である。研究開発には、ある自然現象の状況を観察し研究する科学と同様、事実に関する知識が要求される。これらの事実が一定の規則や法則に基づいている限り、条件さえ揃えば研究して得られる結果は、反復して同じ結果・現象が生ずる。

特許は、発見ではなく、如何なる技術的思想や科学的知識、自然の法則が利用され、その上それらが高度に創作・創造されて生み出されるものまねではない発明でなければならない。

そこで、特許権の取得を重要な課題として考えるならば、上述の発明の成立要件を研究活動の途中で科学的・技術的な観点から、新規性、進歩性及び産業上の利用性等の三つの特許要件を見直すことと同時に、研究成果を特許庁へ出願すべきか否かについて判断することが重要である。